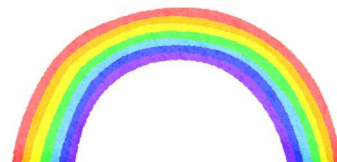


多様な性について考えよう



性の3つの要素と SOGI

- 1 からだの性（生物学的な性／Sex）：身体的な特徴によって決められる性別
- 2 こころの性（性自認／Gender Identity）：自分の性をどのように認識しているか
- 3 好きになる性（性的指向／Sexual Orientation）：どのような性別の人を好きになるか

この3つの要素の組み合わせによって、様々な性のあり方が存在します

SOGI

性的指向(Sexual Orientation)と性自認(Gender Identity)を表す表現として、それぞれの頭文字を組み合わせる **SOGI(ソジ)**という言葉が使われます。全ての人が多様な性の当事者であることに焦点を当てた言葉です。

性的マイノリティと LGBT

「からだの性」と「こころの性」が一致している人や、「好きになる性」が異性である人が多数派とされる一方で、これらに当てはまらない性的マイノリティ（性的少数者）の人がいます。

【性的指向についてのマイノリティ】

Lesbian（レズビアン）

同性を好きになる女性

Gay（ゲイ）

同性を好きになる男性

Bisexual（バイセクシュアル）

異性を好きになることもあれば、
同性を好きになることもある人

【性自認についてのマイノリティ】

Transgender（トランスジェンダー）

「からだの性」と「こころの性」が一致せず、
自分の身体に違和感を持っている人

LGBT

LGBT（エル・ジー・ビー・ティー） は、レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーの頭文字を組み合わせた言葉で、性的マイノリティを表す言葉の一つとして使われています。

性的マイノリティには「LGBT」以外にも、「こころの性」や「好きになる性」がはっきりしない人、決めたくなかったり、わからなくて悩んでいる人（クエスチョニング）、男性・女性のいずれにも当てはまらないと感じている人（Xジェンダー）、男女どちらにも恋愛感情を抱かない人（アセクシュアル）など、さまざまな人がいます。それほど性は多様なのです。

あなたのその一言が、気付かないうちに相手を傷つけているかもしれません・・・

普段の何気ない会話の中で、「ホモ」や「オカマ」などの言葉を使っていますか？これらの言葉は差別的に使われることが多く、それを近くで聞いている当事者を傷つけているかもしれません。性的指向や性自認に関する差別的な言葉は使わないようにしましょう。

< 差別的な言葉の例 >



「ホモ」、「オカマ」、「レズ」、「バイ」、
「オネエ」、「男らしくない」、「女らしくない」など



< 肯定的な言葉の例 >

「レズビアン」、「ゲイ」、「バイセクシュアル」、「トランスジェンダー」など

身近な人からカミングアウトされたら

カミングアウトとは、自分の性的指向や性自認を他の人に**自らの意思**で打ち明けることです。カミングアウトすることはとても勇気が必要なことで、「この人になら打ち明けても大丈夫」とあなたのことをとても信頼して打ち明けてくれています。もしカミングアウトを受けたら、話してくれたことを肯定的に受け止めましょう。



アウティングは絶対にやめましょう！

アウティングとは、他人の性的指向や性自認を**本人の同意なし**に他の人に話すことです。口頭で伝える以外にも、SNSなどで不特定多数の人に情報を流す行為もアウティングにあたります。勇気を出してカミングアウトした人にとって、知られなくなかった人にまで自分の性的指向や性自認が知られることは、心を深く傷つけられる行為です。その人の生命にもかかわることがあるので、十分に注意しましょう。

性のあり方は人それぞれです

誰もが自分の性を尊重され、自分らしく生きていける社会をつくっていきましょう！

ひとりで悩まず、相談してください

セクシュアリティに関する相談

玉野市では、性的指向や性自認に関する悩みについて相談を受け付けています。相談は無料です。秘密は厳守します。

玉野市男女共同参画相談支援センター

玉野市奥玉1丁目18番5号（すこやかセンター2階）

☎0863-33-7867（さんざん なやむな）

平日8時半～16時（祝日・年末年始除く）

国（法務省）の人権相談窓口

みんなの人権110番

☎0570-003-110

平日8時半～17時15分（祝日・年末年始除く）